

# 東京精神医学会 第136回学術集会

開催日：2026年3月21日(土)

会場：東京慈恵会医科大学1号館 講堂(3階)

東京都港区西新橋3-25-8

TEL 03-3433-1111

東京精神医学会事務局

104-0045 東京都中央区築地2-3-4 9F

杜陵印刷株式会社内

TEL：03-3547-9683

E-mail：jimukyoku@tkypa.org

Webサイト：https://www.tkypa.org

## 第136回学術集会プログラム

9:05 開会の辞

第136回学術集会会長 鬼頭伸輔 (東京慈恵会医科大学)

9:10 ~ 10:30 【抑うつ症・双極症】 単位取得対象 (1単位)

座長 鬼頭伸輔 (東京慈恵会医科大学)

1. 原発性アルドステロン症による低K血症を契機にカタトニアを呈した双極症の1例

○佐伯真愛, 橋川応之, 嶋崎彬文, 玉田有, 榎屋二郎

東京医科大学精神医学分野

2. うつ病の経過中にパーキンソニズムの出現とせん妄の合併により, レビー小体型認知症との鑑別に難渋した1例

○秋葉壮貴<sup>1,2)</sup>, 榎本幸輔<sup>1)</sup>, 押淵英弘<sup>1)</sup>, 西村勝治<sup>1)</sup>, 島崎正次<sup>2)</sup>

1)東京女子医科大学病院神経精神科, 2)久喜すずのき病院

3. アルコール離脱せん妄状態と躁状態が混合出現した双極性感情障害の1例

○樋口舞, 崎川典子, 林直樹, 石川美加

一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院精神科

4. うつ病の初診時における精神症状が治療満足度に及ぼす影響についての研究

○鈴木桜子, 菅原典夫, 川俣安史, 古郡規雄

獨協医科大学精神神経医学講座

5. 神経性食思不振症の児童に対する高カロリー再栄養療法が有効だった1例

○湊太郎

聖マリアンナ医科大学病院精神科

6. 治療構造の設定に難渋した双極性感情障害の1例

○清水貴文<sup>1)</sup>, 服部志保<sup>2)</sup>, 今井径介<sup>2)</sup>

1)東京都立荏原病院, 2)初石病院

## 7. 妊娠糖尿病に並行してうつ病エピソードを反復した1例

○永尾龍太，金田渉，渡邊由香子，赤羽晃寿，音羽健司，功刀浩

帝京大学医学部附属病院精神神経科

## 8. 精神病性うつ病，前頭側頭型認知症との鑑別を要した小脳性認知情動症候群の1例

○渡部眞仁，齋藤哲也，高山敏樹，關紳一

埼玉県済生会鴻巣病院精神科

## 10:40 ~ 12:00 【統合失調症・精神症・カタトニア】単位取得対象（1単位）

座長 石井一裕（東京慈恵会医科大学）

## 9. Capgras症候群を呈した妄想性障害のため措置入院として処遇されアリピプラゾールが奏効した1症例

○工藤遼馬<sup>1)</sup>，前川翔太<sup>1)</sup>，佐藤晋爾<sup>2,3)</sup>，遠藤剛<sup>1)</sup>，久永明人<sup>1)</sup>

1)医療法人清風会ホスピタル坂東，2)茨城県立中央病院精神科，3)筑波大学附属病院茨城県地域臨床教育センター精神科

## 10. 周産期精神病症状の背景にベンゾジアゼピン大量乱用があった30代女性

○押見陽友，森有哉，相澤里佳，水谷真志，藤川慎也，笠井清登

東京大学医学部附属病院精神神経科

## 11. 持効性注射剤（パリペリドンパルミチン酸エステル3ヶ月注射剤）が高齢単身の統合失調症患者の自己決定に有効であった1例

○川出ゆう子<sup>1)</sup>，久保馨彦<sup>1,2)</sup>，秋元洋一<sup>1)</sup>，後藤晶子<sup>1)</sup>

1)鶴が丘ガーデンホスピタル，2)慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

## 12. ロングアクティングインジェクション導入前後におけるクロルプロマジン換算量の比較検討

○嘉村吉記，西田正人

長谷川病院精神科

13. てんかんを既往に持つ統合失調症患者が悪性カタトニアを発症した1例

○佐藤悠太郎, 岩田健

東京都立多摩総合医療センター精神神経科

14. 初発の統合失調症に対して持効性注射剤を導入した1例

○南想<sup>1,2)</sup>

1) あいせい紀年病院精神科, 2) 名古屋大学精神科・児童精神科専門研修プログラム

15. 埼玉県済生会鴻巣病院におけるアウトリーチ対象者の介入前精神状態と介入後転帰

○森田誠也, 小田部浩幸, 關紳一

埼玉県済生会鴻巣病院精神科

16. カベルゴリンとブレクスピプラゾールの併用療法により巨大prolactinomaが縮小した統合失調症の1例

○中田貴大<sup>1)</sup>, 石井一裕<sup>1)</sup>, 川口憲治<sup>1)</sup>, 石川耕平<sup>2)</sup>, 小高文聰<sup>1)</sup>, 鬼頭伸輔<sup>1)</sup>

1) 東京慈恵会医科大学精神医学講座, 2) 東京慈恵会医科大学脳神経科学講座

12:10 ~ 12:50 〈ランチョンセミナー〉 単位取得対象ではありません。

演題 精神科医が今後の認知症診療に携わる意義を考える

講師 品川俊一郎 先生 (東京慈恵会医科大学精神医学講座)

座長 鬼頭伸輔 先生 (東京慈恵会医科大学精神医学講座)

13:00 ~ 14:20 【症状性・器質性精神障害】 単位取得対象 (1単位)

座長 館野歩 (東京慈恵会医科大学)

17. ベンゾジアゼピン系薬により幻視が誘発され前駆期レビー小体型認知症を疑われた1例

○大嶋彩花<sup>1)</sup>, 橘川応之<sup>1)</sup>, 白井祐之介<sup>1)</sup>, 佐藤鈴華<sup>1)</sup>, 飯島菜々子<sup>1)</sup>, 鷺尾磨<sup>1)</sup>, 玉田有<sup>1)</sup>, 東晋二<sup>2)</sup>, 榊屋二郎<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学精神医学分野, 2) 東京医科大学茨城医療センターメンタルヘルス科

18. バセドウ病術後で甲状腺機能低下をきたしていた抑うつ症状を持つ患者が甲状腺ホルモン剤投与により症状改善を認めた1例

○南谷祐資, 金澤慧

医療法人社団柏水会初石病院

19. レビー小体型認知症に対して使用したレボドパカルビドパ水和物が情緒不安定性と抑うつ状態にも著効した1例

○石川駿<sup>1)</sup>, 一木里江<sup>2)</sup>, 田亮介<sup>2)</sup>

1)慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室, 2)駒木野病院精神科

20. 抗NMDA受容体脳炎を発症した10歳代男性の1例

○秋山祥子, 米良健輔, 宮保嘉津真, 杉田秀太郎, 真田建史

昭和医科大学烏山病院

21. 特発性基底核石灰化症 (Fahr病) が疑われた症例における緊張病症状候群に対し電気けいれん療法が有効であった1例

○中川路太一<sup>1)</sup>, 五十嵐俊<sup>1)</sup>, 中田千尋<sup>2)</sup>, 熊谷航一郎<sup>1)</sup>, 林大祐<sup>1)</sup>, 生田目珠鳳<sup>3)</sup>, 中元ふみ子<sup>3)</sup>, 太尾田正彦<sup>4)</sup>, 野田隆政<sup>1)</sup>

1)国立精神・神経医療研究センター病院精神診療部, 2)国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部, 3)国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科, 4)国立精神・神経医療研究センター病院麻酔科

22. 抗パーキンソン病薬減量後に残存した幻覚妄想に対してアリピプラゾールが有効であった1例

○平松里菜, 大和田環, 佐々木太郎, 佐藤由英, 長谷川千絵, 川俣安史, 菅原典夫, 古郡規雄

獨協医科大学病院精神神経科

23. オランザピンの予防投与により高用量ステロイド投与を継続できたステロイド精神病の1例

○塚田聡, 椎木昭雅, 小高文聰, 鬼頭伸輔

東京慈恵会医科大学精神医学講座

24. 頻尿の訴えで精神科受診となり, 前頭葉機能低下を伴う変性疾患が疑われたが, 原因疾患が特定されなかった2例

○椎木昭雅, 塚田聡, 神田彩子, 酒井祥行, 石井一裕, 品川俊一郎, 鬼頭伸輔

東京慈恵会医科大学精神医学講座

## 14:30 ~ 15:50 【自閉スペクトラム症・解離性同一症・心的外傷後ストレス症】

座長 神出誠一郎（群馬大学）

単位取得対象（1単位）

### 25. 急性一過性精神病状態を呈して入院した自閉スペクトラム症患者の1例

○大石瑛一，島崎正次

医療法人大社会久喜すずのき病院

### 26. 双極性障害に伴う不眠と考えられた症状の背景に重症睡眠時無呼吸症が判明し，CPAP導入で改善した1例

○江口祐介，鈴木洋久，山田真理恵，真田建史

昭和医科大学烏山病院精神医学講座

### 27. 多彩な解離症状を有する患者が精神科入院中に劇症1型糖尿病を発症し，診断が遅れた1例

○知識裕喜，松尾陽

国立病院機構肥前精神医療センター

### 28. 特発性過眠症疑いで施行した反復睡眠潜時検査にて欠伸発作を示唆する脳波所見を認めた1例

○箕輪薫瑠子，高木俊輔，丸尾享司

東京科学大学精神科

### 29. 長時間ビデオ脳波検査で確定診断に至った心因性非てんかん発作（PNES）の1例

○目黒雄大<sup>1,2)</sup>，大政皓聖<sup>3)</sup>，砂原真理子<sup>4)</sup>，田久保陽司<sup>2)</sup>，谷口豪<sup>4)</sup>，辻野尚久<sup>2)</sup>，布村明彦<sup>1)</sup>

1) 東京都立松沢病院精神科，2) 済生会横浜市東部病院精神科，3) 済生会横浜市東部病院救急科，4) 国立精神・神経医療研究センター病院てんかん診療部

30. イマジナリーコンパニオンが適応機能を果たした複雑性PTSDの1例

○管絃一朗，森啓輔，中澤亜美，薩田雄人，石井一裕，鬼頭伸輔

東京慈恵会医科大学精神医学講座

31. 抑うつにより自殺企図に至った難治性てんかんの1例

○水上颯<sup>1)</sup>，藤岡真生<sup>2,3)</sup>，佐藤駿<sup>一3)</sup>，藤川慎也<sup>3)</sup>，近藤伸介<sup>3,4)</sup>，笠井清登<sup>3)</sup>

1)埼玉県立精神医療センター，2)東京警察病院精神科，3)東京大学医学部附属病院精神神経科，4)東京都立松沢病院精神科

16:00 ~ 17:20 【電気けいれん療法・クロザピン】単位取得対象（1単位）

座長 小高文聰（東京慈恵会医科大学）

32. 遷延したうつ病に電気痙攣療法が奏功した1例

○村松千沙人，内沼虹衣菜，有賀裕，平田卓志，鈴木健文

山梨大学医学部精神神経医学講座

33. うつ病に対する修正型電気けいれん療法施行後に無症候性たこつぼ心筋症及び脳梗塞を発症した1例

○井上麻理，久保馨彦，煙山剛史，前田貴記，内田裕之

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

34. 長年の維持ECTにて寛解が維持されたためECTを中断した1例と維持ECT中断に関する考察

○松野仁美，西晃，中野雅規，大島鴻太，中島振一郎，前田貴記，内田裕之

慶應義塾大学病院精神・神経科

35. レビー小体型認知症に伴う精神症状にmECTが有効であった1例

○太田和宏<sup>1,2)</sup>，榎本幸輔<sup>1)</sup>，鈴木龍<sup>1)</sup>，外山皓喜<sup>1)</sup>，林希<sup>1)</sup>，秋山洋美<sup>1)</sup>，高柳薫<sup>1)</sup>，押淵英弘<sup>1)</sup>，西村勝治<sup>1)</sup>

1) 東京女子医科大学病院神経精神科，2) 久喜すずのき病院

36. 未破裂脳動脈瘤クリッピング術後の難治性うつ病患者にmECTを施行した1例

○吉尾卓巳<sup>1)</sup>，安田誠太<sup>2)</sup>，稲見理絵<sup>2)</sup>，前嶋仁<sup>3)</sup>，馬場元<sup>2)</sup>

1)順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター精神医学講座，2)順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院精神医学講座，3)順天堂大学医学部附属静岡病院精神医学講座

37. 東京足立病院におけるクロザピン治療の現状と課題

○徳本一将，尾崎茂，刑部彰一，三井容子，望月大樹，北野知地  
東京足立病院精神科

38. クロザピン投与患者がCOVID-19に罹患した際の対応

○児玉悠貴，島崎正次，島田秀穂，鈴木枝里子，佐藤順紀，藤森渚，小野田歩  
久喜すずのき病院精神科

39. 持効性注射剤使用中のベンゾジアゼピン抵抗性カタトニアに対して電気けいれん療法を導入した1例

○大野修吾郎，永倉暁人  
東京都立松沢病院

17:25 閉会の辞

第136回学術集会会長 鬼頭伸輔（東京慈恵会医科大学）

## 東京精神医学会学術集会を年次集会に変更のご連絡

平素より当学会をご支援くださり厚くお礼申し上げます。

これまで当学会は長年学術集会を年3回開催し、症例発表を中心とする若手精神科医の学会発表の登竜門として活発に議論してまいりました。また、最近では専攻医の申請要件の学会発表の場としても十分な機能を果たして参りました。

しかしながら、年3回の集会運営は煩雑であること、他の地方会は年1回が通例であることから、理事会の議論を経て、第137回より本学会の学術集会も年に1回開催に変更することに致しました。

これまでは1回の学術集会で25から30演題をご発表いただいておりますので、年1回になりましても年間演題数は同様となるよう、100題程度は準備する予定です。次回開催時期につきましては2027年1月～3月の1日間を予定しております。

詳細が決まりましたら、メールや学会ホームページでお知らせして参ります。

何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

### 精神科専門医資格更新に必要な単位の取得について

今回の学術集会への参加で取得できる単位は次のとおりです。

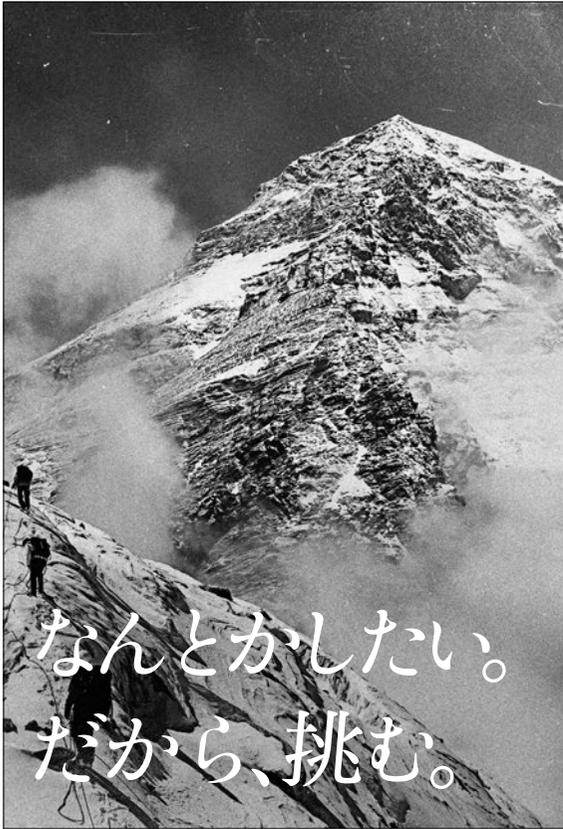
- セッション名の横に記載のあるセッションが単位取得対象です。
- 対象3セッション以上への参加で最大3単位取得可能です。
- 学会単位・機構単位（精神科領域）のいずれにも単位付与されます。

当日受付は次の手順で行ってください。

- ①学術集会受付で氏名・所属を申し出て参加登録を行う。
- ②単位受付で〈日本精神神経学会会員カード〉を呈示して参加登録を行う。

※当日受付で参加を記録し、日本精神神経学会に単位付与を申請します。

※単位取得の詳細については日本精神神経学会にお問い合わせください。



なんとかしたい。  
だから、挑む。

人類の歴史にはさまざまな挑戦者がいた。  
どんなに失敗しても、彼らの熱意や想いが  
何度も立ち上がらせ、その結果、常識を  
打ち破り新しい世界を見せてくれた。

医薬はどうだ。

世界一高い山に登り、宇宙や深海を探索  
できる時代に、私たちの体の中には未解決  
の課題が山積している。

私たちにはやるべきことがある。

助けなければならない人がいる。

だから、挑む。住友ファーマ

 **Sumitomo Pharma**  
Innovation today, healthier tomorrows



**患者さんの  
Quality of Lifeの向上が  
私たちの理念です。**

**TEIJIN**



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD005-TB-2505-2  
2025年5月作成

世界中の人々の  
より豊かな人生のため、  
革新的医薬品に  
思いやりを込めて



**Lilly**  
A MEDICINE COMPANY

日本イーライリリーは製薬会社として  
人々が健康で、より豊かな生活を送れるよう  
がん、糖尿病、自己免疫疾患、  
アルツハイマー病などの中枢神経系疾患を含む  
幅広い領域で革新的な医薬品を提供し  
日本の医療に貢献しています。

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 5-1-28  
<https://www.lilly.com/jp/>

 VIATRIS



セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(SNRI) 薬価基準収載

**イフェクサー<sup>®</sup>SR** カプセル **37.5 mg・75 mg**

**EFFEXOR SR** CAPSULES

ベンラファキシン塩酸塩徐放性カプセル

創薬 処方箋医薬品

注意—医師等の処方箋により使用すること

● 効能又は効果、用法及び用量、  
禁忌を含む注意事項等情報等  
については、電子添文をご参照  
ください。

製造販売

**ヴィアトリス製薬合同会社**

〒106-0041 東京都港区麻布台一丁目3番1号  
文献請求先及び問い合わせ先：メディカルインフォメーション部

EFX72M002C

2024年7月作成

# SHIONOGIは いま、まさに 立ち向かっている。

半世紀以上、  
感染症と向き合い続けてきた誇りを胸に。  
ヘルスケアの未来を見据え、  
健やかで豊かな人生に貢献するために。



2024.3.B52



抗精神病薬

# レキサルティ

REXULTI® 〈プレクスヒプラゾール製剤〉

劇薬、処方箋医薬品<sup>※1</sup>

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

® OD錠0.5<sup>mg</sup>  
OD錠1<sup>mg</sup>  
OD錠2<sup>mg</sup>

薬価基準収載

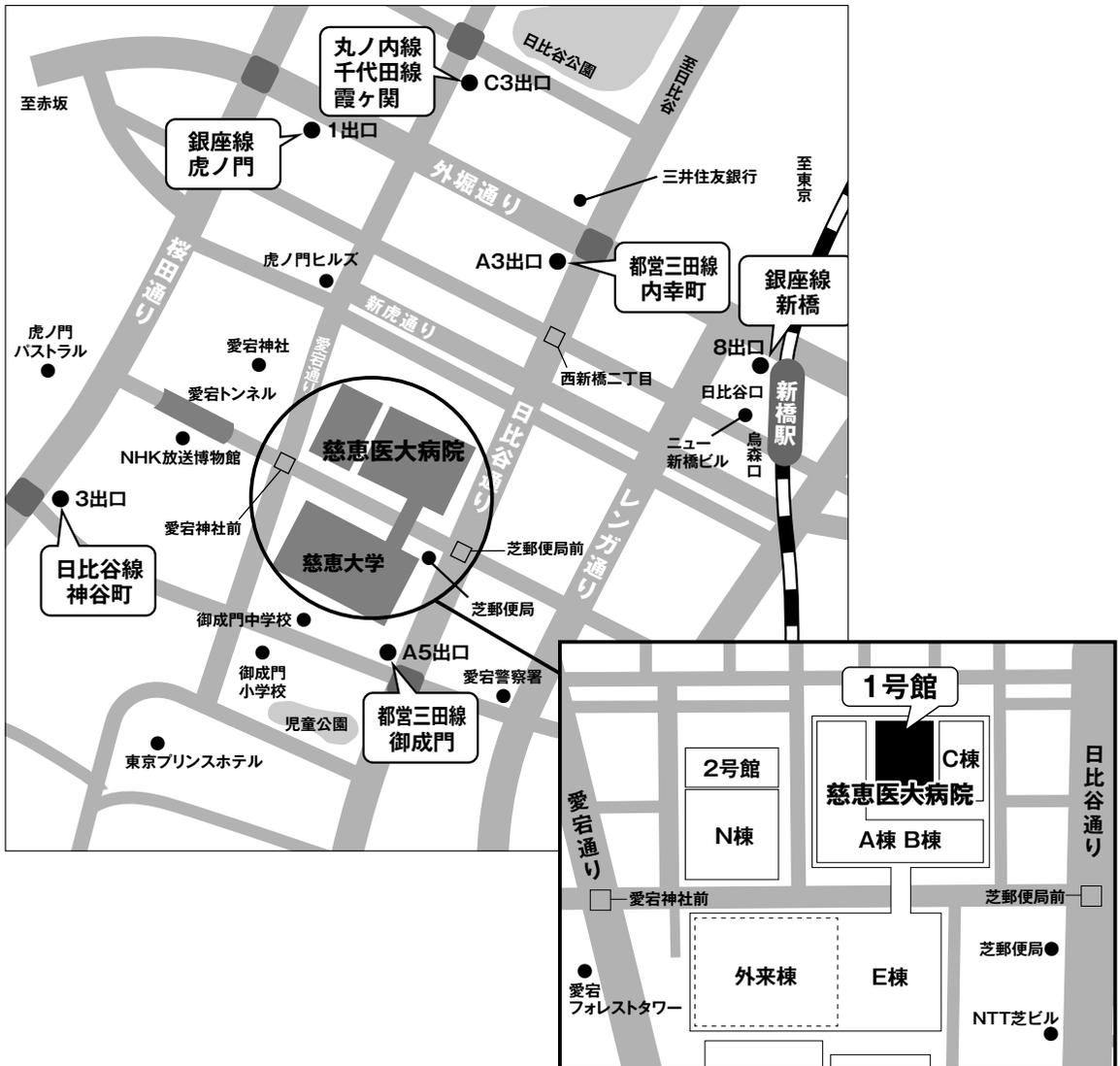
◇効能又は効果、用法及び用量、禁忌  
を含む注意事項等情報については、  
電子添文をご参照ください。

製造販売元  
**大塚製薬株式会社**  
Otsuka 東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先  
大塚製薬株式会社 医薬情報センター  
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

〈'25.06作成〉

## 【会場案内図】



- 都営三田線「御成門」A5出口から徒歩約6分
- 都営三田線「内幸町」A5出口から徒歩約8分
- 東京メトロ日比谷線「神谷町」3出口から徒歩約10分
- 東京メトロ銀座線「虎ノ門」1出口から徒歩約11分
- 東京メトロ銀座線、都営浅草線「新橋」8出口から徒歩約12分
- JR「新橋」烏森口から徒歩約12分